



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ミダックホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 6564 URL <https://www.midac.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,669	25.1	1,162	40.4	1,141	40.6	724	45.1
2024年3月期第1四半期	2,134	7.6	827	8.7	812	9.3	499	16.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 724百万円 (45.0%) 2024年3月期第1四半期 499百万円 (16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	26.20	26.20
2024年3月期第1四半期	18.09	18.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	26,666	13,299	49.7
2024年3月期	26,901	12,789	47.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 13,265百万円 2024年3月期 12,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,013	19.5	1,562	15.3	1,578	19.4	976	29.6	35.31
通期	10,391	8.8	3,849	8.8	3,881	14.9	2,484	30.3	89.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P7「（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	27,773,500株	2024年3月期	27,773,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	115,322株	2024年3月期	115,302株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	27,658,179株	2024年3月期1Q	27,603,452株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化やインバウンド需要の増加等により景気は緩やかに回復しているものの、長期化するロシアのウクライナ侵攻に起因するエネルギー価格の高止まりや中東における地政学的リスク、世界的な金融政策の引き締めによる世界経済の減速懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは管理型最終処分場「奥山の杜クリーンセンター」を中心に廃棄物受託量の拡大に努め、既存事業における収益力の強化を進めてまいりました。特に、廃棄物処理業および建設業における新規大口案件の受託や既存取引先との取引量の拡大により、廃棄物受託量は大きく増加しました。

また、前期第3四半期連結会計期間より業績に反映している遠州碎石株式会社においては、奥山の杜クリーンセンターの第2期～第4期工事で排出される残土の受入れも順調に推移し、施設開発におけるガバナンスの強化や収益力の向上に貢献しております。加えて、同じく同期間より連結業績に反映された株式会社フレンドサニタリーにおいても、一般廃棄物の収集運搬事業としての安定した事業環境を背景に業績は堅調に推移し、業容の拡大に寄っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,669百万円(前年同期比25.1%増)、営業利益は1,162百万円(同40.4%増)、経常利益は1,141百万円(同40.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は724百万円(同45.1%増)と増収増益を確保し、第1四半期の売上高、各利益において過去最高を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分事業

株式会社ミダックにおいては、旺盛な埋立需要を背景に最終処分場における廃棄物受託量が大きく増加しました。また、焼却施設においても市況を考慮した戦略的な営業を実践することで、廃棄物処理業や自治体からの受託量は増加しました。以上の結果、売上高は2,094百万円(同9.1%増)となり、セグメント利益は1,250百万円(同15.5%増)となりました。

② 収集運搬事業

産業廃棄物においては、大口取引先に対する価格転嫁が奏功したものの、受託量は前期に比べ減少しました。一般廃棄物においては、株式会社フレンドサニタリーの業績が今期より通期で貢献しているほか、株式会社ミダックライナーにおいて飲食店を中心とした新規開拓に注力した結果、受託量は前期よりも増加しました。以上の結果、売上高は475百万円(同161.0%増)となり、セグメント利益は134百万円(同537.0%増)となりました。

③ 仲介管理事業

小口案件および大口案件ともに受注数が増加したことに加え、搬入効率や収益性の向上を念頭に置いた仲介案件の獲得に注力したことで、協力会社への仲介は好調に推移しました。以上の結果、売上高は33百万円(同2.8%増)となり、セグメント利益は24百万円(同22.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ977百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少額893百万円等によるものであります。また、固定資産は17,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ742百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定の増加額576百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、26,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ234百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ573百万円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少額525百万円等によるものであります。

また、固定負債は7,130百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少しました。これは主に、長期借入金金の減少額197百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、13,367百万円となり、前連結会計年度末に比べ743百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ509百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益724百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額503百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日付の「2024年3月期 決算短信」にて公表しました連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,787,716	7,894,189
受取手形及び売掛金	1,303,777	1,191,177
棚卸資産	73,837	76,690
その他	273,183	299,396
貸倒引当金	△2,481	△2,609
流動資産合計	10,436,032	9,458,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,005,784	998,700
機械装置及び運搬具（純額）	726,225	746,554
最終処分場（純額）	4,870,675	4,811,885
土地	4,577,814	4,827,213
建設仮勘定	2,150,167	2,726,686
その他（純額）	66,759	61,147
有形固定資産合計	13,397,426	14,172,188
無形固定資産		
のれん	1,220,669	1,153,674
施設設置権	80,200	70,175
その他	65,856	103,314
無形固定資産合計	1,366,725	1,327,164
投資その他の資産		
投資有価証券	257,193	256,195
繰延税金資産	669,058	670,177
その他	774,663	782,307
投資その他の資産合計	1,700,916	1,708,681
固定資産合計	16,465,068	17,208,034
資産合計	26,901,101	26,666,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,334	47,483
短期借入金	4,090,000	4,090,000
1年内返済予定の長期借入金	983,224	915,368
未払法人税等	752,529	227,381
未払金	334,245	439,439
賞与引当金	126,483	59,051
その他	469,864	458,991
流動負債合計	6,811,681	6,237,715
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	5,184,421	4,987,336
繰延税金負債	82,502	85,714
退職給付に係る負債	34,222	35,588
役員退職慰労引当金	758,000	758,000
最終処分場維持管理引当金	881,533	906,898
資産除去債務	112,538	112,546
その他	46,410	43,926
固定負債合計	7,299,628	7,130,011
負債合計	14,111,309	13,367,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	4,909,038	4,912,562
利益剰余金	7,862,738	8,365,994
自己株式	△103,542	△103,572
株主資本合計	12,758,234	13,264,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,307	638
その他の包括利益累計額合計	1,307	638
新株予約権	30,249	33,529
純資産合計	12,789,791	13,299,152
負債純資産合計	26,901,101	26,666,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,134,944	2,669,779
売上原価	780,676	933,466
売上総利益	1,354,268	1,736,312
販売費及び一般管理費	526,336	574,192
営業利益	827,931	1,162,120
営業外収益		
受取利息	153	417
不動産賃貸料	3,839	2,100
固定資産売却益	1,090	2,835
その他	739	2,511
営業外収益合計	5,822	7,864
営業外費用		
支払利息	18,699	26,804
その他	2,790	1,374
営業外費用合計	21,490	28,179
経常利益	812,263	1,141,805
税金等調整前四半期純利益	812,263	1,141,805
法人税等	312,848	417,110
四半期純利益	499,415	724,694
親会社株主に帰属する四半期純利益	499,415	724,694

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	499,415	724,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△669
その他の包括利益合計	—	△669
四半期包括利益	499,415	724,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499,415	724,025

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	153,106千円	176,212千円
のれんの償却額	60,236	66,994

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,919,916	182,220	32,807	2,134,944	—	2,134,944
外部顧客への売上高	1,919,916	182,220	32,807	2,134,944	—	2,134,944
セグメント間の内部売上 高又は振替高	87,669	5,051	229	92,951	△92,951	—
計	2,007,586	187,272	33,036	2,227,895	△92,951	2,134,944
セグメント利益	1,082,278	21,139	20,094	1,123,513	△295,581	827,931

(注) 1. セグメント利益の調整額△295,581千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計			
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	2,094,048	475,571	33,711	2,603,331	66,447	—	2,669,779
外部顧客への売上高	2,094,048	475,571	33,711	2,603,331	66,447	—	2,669,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81,298	2,338	8,131	91,767	351	△92,118	—
計	2,175,346	477,910	41,842	2,695,099	66,798	△92,118	2,669,779
セグメント利益	1,250,184	134,662	24,669	1,409,516	38,821	△286,217	1,162,120

(注) 1. セグメント利益の調整額△286,217千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。